

科目名	担当教員	学期	単位
方法論セミナー（規範）	谷澤 正嗣	夏季集中	2

講義概要

実際に規範的政治理論や政治思想史の研究を行う場合、研究書や研究論文を（とくに外国語で）読み、その内容に概念分析を加えてrelevancy（有意性）のある論点を取り出したうえで、その論点に即して自分の主張したいthesis（命題）を設定し、再び概念分析の手法を用いてそれを説明し論証するという手続きが必要になる。本セミナーでは「政治学研究方法（規範）」の講義内容を踏まえて、こうした手続きを実際に試してもらう。言い換えれば規範的概念分析という手法を（必要に応じてほかの手法と組み合わせながら）実際に「使って」もらおうというわけである。具体的には、以下の三つの課題を行いたい。

(1) Bernard Manin, *The Principles of Representative Government* (Cambridge University Press, 1997)を通読し、討論する。本書は、現代の政治学全般にとってきわめて有意性の高い諸問題を取り上げて、規範的関心と実証的・歴史的関心とをバランスよく組み合わせた議論を展開している定評ある研究書である。

(2) 英語の代表的なジャーナルに掲載された近年の論文数編を通読し、討論する。

(3) thesisを設定しproposal（計画書）を用意し発表したうえで、8,000字から10,000字ほどのエッセイを執筆する。

シラバス

15回分に相当する講義内容を三日間ないし四日間の集中講義で行う。したがって以下の計画はあくまでも目安である。ジャーナル論文は前期の講義中に検討し指定する。プロポーザルの発表に関しては、受講生が多い場合、事前に全員に提出を求めたうえで、とくにすぐれたものや議論の対象にしたいものに限って発表してもらい討論を行う可能性もある。いずれにせよエッセイの執筆は受講生全員に求める。

- [第1回] Bernard Manin, *The Principles of Representative Government*の講読
- [第2回] Bernard Manin, *The Principles of Representative Government*の講読
- [第3回] Bernard Manin, *The Principles of Representative Government*の講読
- [第4回] Bernard Manin, *The Principles of Representative Government*の講読
- [第5回] Bernard Manin, *The Principles of Representative Government*の講読
- [第6回] ジャーナル論文の講読
- [第7回] ジャーナル論文の講読
- [第8回] ジャーナル論文の講読
- [第9回] ジャーナル論文の講読
- [第10回] ジャーナル論文の講読
- [第11回] プロポーザルの発表と討論
- [第12回] プロポーザルの発表と討論
- [第13回] プロポーザルの発表と討論
- [第14回] プロポーザルの発表と討論
- [第15回] プロポーザルの発表と討論

教科書

Bernard Manin, *The Principles of Representative Government* (Cambridge University Press, 1997)
その他のテキストについては講義開始までに指定する。

参考文献

評価方法

エッセイと、出席・報告・発言等のセミナー参加を総合して評価する。評価の割合は、おおむねエッセイ50%、セミナー参加50%として了解されたい。

関連URL

備考